

団体名	名古屋市民オンブズマン・ 同ティアップグループ		都道府県名	愛知県
所在地（〒460-0002） 名古屋市中区丸の内3-7-9 チサンマンション丸の内第2 303				
電話	052-953-8052	FAX	052-953-8050	
Eメール	office@ombudsman.jp		http://www.omnagoya.gr.jp/	
代表者	新海 聡	報告者	内田 隆	
結成年月日	市民オンブズマンは90年2月、ティアップグループは95年7月			
会員数	市民オンブズマン 10名、 ティアップグループ 約60名	年会費	市民オンブズマン年15千円 タイ アップグループ年6千円	
組織の状況（会議の頻度・案内方法・会計状況等）・特徴				
毎週火曜日午後6時30分から名古屋の事務局で行っている例会「火曜会」が活動の原動力となっていたが、高齢化などにより流会することも最近多い。継続的に議論する事項のほか、1週間分の新聞記事をもとに、新たな活動を提案することも行われている。 通常の活動の中心は弁護士以外のメンバーである。組織として、ティアップグループと市民オンブズマンとに分けられているが、ティアップグループが通常の活動の中心的役割を果たしている。				
活動を始めてから		裁判の記録		
・ 情報公開請求件数（地方）1200 （国）500 （特殊法人）40 ・ 住民監査請求		・ 情報公開訴訟件数 15件 ・ 住民訴訟件数 29件 ・ その他		
この1年間の活動経過と今後の方針				
秘密保全法対応ならびに、全国オンブズ事務局活動、さらに会員の高齢化で地元市民オンブズマン活動があまり活発にできなかった。再度活動の原点に戻って体制を立て直す必要がある。				
1. 住民監査請求（2件）				
(1) 愛知県議政務調査費「事務所費」「車リース代」「ガソリン代」住民監査請求（12年5月30日） 2010年度愛知県議（自民、民主、公明）に支出した政務調査費のうち、「事務所費」として支給した「事務所費」「車リース代」、ならびに異常に高額な「ガソリン代」合計約7915万円は条例違反として、12年5月30日付で住民監査請求を行った。 2009年度支出分「事務所費」「車リース代」は条例に定めがなく違法と住民監査請求した（現在住民訴訟係属中 名古屋地裁）が、2010年度分は、特に特定議員の支出にも着目した。ある議員は月269,640円もの車リース料を支払っていた。県議会が定めたマニュアルどおり1台のみのリースであれば、そのようなゴージャスな自動車は不要ではないかとオンブズマンは主張している。また、同じ議員はガソリン代だとして年99万円もの領収書を提出（領収書明細欄「入金」とのみ記載）していたので、本当にガソリン代なら議員活動に支障が出るほど運転していることにならないかとオンブズマンは主張している。 なお、2011年5月分以降の領収書は1円以上公開となり、県議会に閲覧しに行ったところ、上記議員の支出はゼロであった。上記議員が本当に支出していたのか、疑惑が深まったといえる。 2011年5月分以降の領収書は合計2万枚以上になり、事実上チェックしようがない。少なくとも会派で作成している帳簿を議長に提出させるよう、条例の改正を求めている。				

(2) 名古屋市黒塗公用車 住民監査請求（12年1月25日）するも棄却

名古屋市市長室が管理している黒塗公用車は官尊民卑の象徴であるとして、12年1月25日にリース代・点検代・車検代・ガソリン代の住民監査請求を行った。河村たかし名古屋市長は、黒塗公用車はおかしいとして、自らは軽自動車を公用車として移動手段に使っている。しかし、市職員には課長級以上の黒塗公用車の使用を認めており、市政の矛盾ではないかと追及した。

事前に市長室の担当者と面談したところ、「黒塗車の過剰は認識しているが、減車した場合の余剰運転士の処遇に困る」とのこと。自治体内での横断的で柔軟な人事異動こそ自治体が検討すべき課題であり、河村市長の統治能力を疑わざるを得ない。

3月22日付で住民監査請求は棄却されたが、意見の中で「台数については運転士の処遇により決めるのではなく、総合的な検証により定める必要があり、一層の行政の効率化・合理化を求める」と記載があった。

住民監査請求後、名古屋市は11台あった黒塗公用車を8台、運転士7人に減らすと発表した。定年等で3人が辞め、1人を他部署に配置転換させるという。運転士に対して車が1台余るが、「エスティマが1台あり、移動人数が多いときに使う」とのこと。今後も監視を続けたい。

2. その他

(1) 愛知県黒塗公用車 廃止を求め申し入れ（12年4月27日）

上記のように、名古屋市ではわずかに改善された黒塗公用車だが、愛知県では20台あり、しかも運用状況は名古屋市より悪いことが判明したため、12年4月27日に黒塗公用車廃止の申し入れと質問状を大村秀章知事宛に提出した。

名古屋市では09年11月に河村たかし市長に直接黒塗公用車の廃止申入書を手渡したが、大村知事へも直接手渡したいと伝えたところ、知事の判断を仰ぐことなく担当者レベルで却下された。申し入れへの回答はおざなりで、本当に知事に見せたのか聞いたが、「知事に報告した」と説明するのみ。情報公開請求したところ、知事へ報告したとする文書は確かにあった。

なお、名古屋市・愛知県とも、黒塗公用車を保有する理由のひとつに「同規模の民間企業の事例を参考にしている」というが、実際の民間企業の実態は把握していなかった。名古屋市民オンブズマンが、東海地方の有名大企業に、黒塗公用車の保有実態についてアンケートを行おうとしたが、多くの企業から送付すら拒否され、送付した一部企業も回答がまったくなかった。

行政改革は「まず隗より始めよ」ではないか。今後も追及していきたい。

(2) 愛知県内議会 議員通信簿作成の取り組み

愛知県内の市民オンブズマンが集まり、議員通信簿の作成の取り組みを始めた。採点基準をめぐる、「理想的な質問」とは何かを議論した。2012年9月に発表する予定。

(3) 秘密保全法反対活動

秘密保全法に反対するため、愛知県内の弁護士、市民団体らが集まって「秘密保全法に反対する愛知の会」を全国に先駆けて12年4月2日に結成した。名古屋市民オンブズマンも会員となって、事務局を担っている。月2回の街頭宣伝活動、不定期の学習会、講師派遣、チラシ作成、わかりやすいマンガ作成、ブログ更新など活動は多岐にわたる。各地でも同様の取り組みを期待したい。

(4) 塩漬け土地問題

莫大な塩漬け土地を抱えるなごやサイエンスパークBゾーンについて、12年6月25日に名古屋市はようやく見直すと発表した。06年1月に適切な処理を求める意見書を名古屋市民オンブズマンが提出してから6年間、名古屋市はいくら公金を支出したのかを情報公開請求した。それを踏まえ、今後の活動を検討したい。